

平成30年11月15日

佐野市議会議長 井川克彦様

経済文教常任委員会委員長 亀山春夫

経済文教常任委員会行政視察報告書

1. 期 日 平成30年10月3日(水)及び10月4日(木)
2. 視察地及び視察事項
 - (1) 近江八幡市
VR安土城について
 - (2) 小松市
小中学校学力向上の取り組みについて
3. 派遣委員 亀山春夫(委員長)、早川貴光(副委員長)、岡村恵子、若田部治彦、鈴木靖宏、田所良夫
4. 随行者 議会事務局 議事調査係 (係長)小筆重紀
5. 視察概要 別紙の通り

(1) 近江八幡市

近江八幡市の概要

人口	81,312 人	(平成 29 年 6 月 1 日現在)
面積	177.39 km ²	
議員定数	24 名	
政務活動費	20,000 円/月=240,000 円/年	

視察概要 近江八幡市 VR 安土城について

内容

近江八幡市の取り組みの経緯

歴史上の人物の中で非常に人気の高い織田信長により築かれた幻の城・安土城(天正 4 年創建、天正 10 年本能寺の変にて焼失)の持つ歴史・観光資産としての価値に注目し、全市的な観光周遊ルート構築のための拠点とするため、最新の VR(ブアーチャルリアリティー)技術を利用した安土城の復元に取り組んだ。

所感

タブレット型 VR 安土城と高精度シアター型 VR 安土城の 2 種類のシステムを軸に展開している。タブレット型は市内 12 カ所にビューポイントを設定し、市内を回遊しながら、それぞれの場所から当時の安土城の姿に触れる機会を設けている。また高精度シアター型システムは、安土城と城下町すべてを最新の VR 技術で再現し、信長の館で常設化して大画面で体感ができるようにしている。

私たち経済文教常任委員会委員で信長の館で初めて VR によるシアターでの史実に基づいた VR を体験致しました。

単なる、3D ではなく、当時の安土城の創建時の城・城下町の姿の中にまるで今、自分がタイムスリップをしているような錯覚を覚える程の VR の体験を致しました。

昨年 11 月 25 日(土)26 日(日)第 24 回山城サミット佐野大会が開催され成功裏に終了致しました。この事業を一過性のものとすることなく、継続して唐沢山城の歴史と魅力を更には観光誘致等へ取り組み向け、大変参考になりました。

(2)小松市

小松市の概要

人口	108,358人	(平成30年4月1日現在)
面積	371.05 km ²	(平成29年6月1日現在)
議員定数	22名	
政務活動費	70,000円/月=840,000円/年	

視察の概要 小中学校学力向上の取り組みについて

内 容

小松市の取り組みの経緯・

新学習指導要領から「確かな学力」の育成を目指し、「学力向上へのアプローチ」を作成した。小松市の児童生徒の状況には、平成20年度「全国学力・学習状況調査」「石川県基礎学力調査」から見える小松市の児童生徒の状況により、重点指導事項を洗い出して自校の教育の質の向上と課題解決を図っている。

所 感

新学習指導要領の方向性に従い、主体的な学びとして、学ぶ事に興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、学習活動を振り返って次につなげる。

対話的な学びとして、子ども同士の協同、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める。

深い学びとして、習得・活用・研究と言う学びの中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査し考えを精査したり、問題の解決策を考えたり思いや創造する。などを学びに向かう人間性の指導要領の実現を図っている。

適切なねらいの設定や考える価値のある学習課題、考える教師のコーディネートを行い日々の授業の質を本気で上げている。

小松市の取り組みが今後の佐野市の教育環境の整備に大変参考になりました。